

**校訓「自主 勤労 敬愛」****学校教育目標「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」****スローガン 「努力夢現」 ～ 努力を続け、夢や目標を実現・達成できる学校 ～**

【正々堂々戦い抜く】

6月8日(木)市中総体激励式が開催されました。選手入場の後、出場するすべての選手が登壇し、主将が「これまで支えてくれた方々への感謝」と「今後も全力を尽くす決意」の言葉を述べました。

次に、選手宣誓では、森保主将と酒井主将が「**正々堂々戦い抜く**」ことを誓いました。

最後に、みんなで生徒会が作成した応援ムービーを鑑賞し、選手たちの頑張りを見届けました。

中総体での活躍を予感させる激励式となりました。



【長崎市の代表として】

6月10～12日の期間に、長崎市中総体を実施されました。

保護者や来賓の応援をほとんどの競技で認めるなど4年ぶりの大規模開催となりました。

多くの中学校では、参加する部活動に所属していない生徒は自習等を行いました。本校では、1日目と2日目は試合をWEB配信し、3日目は全校生徒が会場に参集し、一体となって応援することができました。そのおかげもあって、選手たちはもてる力を十分に発揮し、優秀な成績をおさめることができました。

試合結果につきましては、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

7月22～23日に開催される県大会には、5つの部活動などの選手が出場します。男子バスケット部の高平主将は「**長崎市の代表として**

全力で戦い優勝旗を勝ち取ってきます。」と力強く語ってくれました。選手諸君の健闘を期待します。



【しっかり学習するような取組を工夫】

6月15・16日に1学期期末テストが実施されました。

1年生は、初めての定期テストで、戸惑いも大きいと思っていましたが、当日は、教室や廊下で、朝早くから多くの生徒が最後の追い込みに熱心に取り組んでおり、意識の高さに感心しました。

2・3年生は、友達と教えあったり、問題を出し合ったりしながら、理解を定着させようとする姿が印象的でした。

学習委員会の古賀委員長は「自習の時間などは、みんな集中して学習することができていました。ただ、家庭学習が不足している人が多かったようです。

次のテストでは、みんなが家庭でも**しっかり学習するような取組を工夫**していきたいと思っています。」と語ってくれました。



【「命の大切さ」を見つめて】

6月30日～7月7日は、小ヶ倉中学校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。

期間中は「命」をテーマに、道徳の授業や講演会など様々な取組が行われます。

最初の取組として、学校集会で校長講話を行いました。その中で、今年5月に南米のコロンビアで飛行機事故にあい、母を失いながら、ジャングルで40日間、弟や妹の命を守り抜いた13歳の少女の話を通して、命の大切さについて考えました。

この後も「防災教育」や「食育」「平和教育」「性の学習」などを通して「**命の大切さ**」を見つめていく予定です。

